

授業科目	授業番号： 430			担当者	山口 祐司
	経済学特講			授業外対応	メール等で予約の上適宜対応します。
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	指定なし	後期	2単位	選択	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】アメリカ経済とアメリカを中心とした国際経済関係の歴史を通して、経済学上のキーワードを学んでいきます。</p> <p>【概要】第二次世界大戦後の世界は、「パクス・アメリカナ」と呼ばれ、アメリカが国際経済、国際政治の枠組みをリードしてきました。しかし冷戦が終結して30年以上経った現在、米中対立に見られるように、アメリカの圧倒的な優位は失われつつあるように見えます。この授業では、アメリカの超大国としての経済的発展とその限界について、アメリカ国内および国際経済の歴史という観点から学んでいきます。</p> <p>【到達目標】アメリカ経済の歴史から特質を学ぶこと。良い意味でも悪い意味でも資本主義経済の最先端をいくアメリカに学ぶことで、日本を含む世界が直面する経済・社会の問題に取り組む力をつけること。</p>				
学生の主体的・対話的な学び	<p>毎回授業の最後に、その日の授業で学んだことや質問を200字以上でコメントカードにまとめて提出してもらいます。出された質問の中から授業理解に関わって重要なものについて、翌週解説します。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリント (2) 講義時に提示</p>				
授業 スケジュール	<p>第1回 ガイダンス、なぜいまアメリカ経済を学ぶか 第2回 アメリカ経済の勃興(1)大量生産体制 第3回 アメリカ経済の勃興(2)債務国から世界最大の債権国へ 第4回 大恐慌と第二次世界大戦(1)狂騒の1920年代 第5回 大恐慌と第二次世界大戦(2)保護貿易と世界恐慌 第6回 大恐慌と第二次世界大戦(3)ニューディールと戦争 第7回 ブレトンウッズ体制とケインズ政策(1)ブレトンウッズ体制と戦後国際経済秩序 第8回 ブレトンウッズ体制とケインズ政策(2)ケインズ政策と持続的経済成長 第9回 ブレトンウッズ体制とケインズ政策(3)ドル危機と石油危機 第10回 新自由主義の興隆(1)レーガノミクスと金融化 第11回 新自由主義の興隆(2)グローバルサプライチェーンの形成 第12回 新自由主義の興隆(3)先端技術とイノベーション 第13回 新自由主義の帰結(1)リーマンショック 第14回 新自由主義の帰結(2)格差問題のゆくえ 第15回 まとめ</p>				
授業外学習 (予習・復習)	<p>事前に提示する参考文献を予習し、授業後にはプリントをよく見直すようにしてください。</p>				
成績評価の方法	<p>レポート(60%)、毎回の授業で実施する授業まとめ(40%)</p>				
実務経験について	<p>なし。</p>				